

ちょっと雑学

# 大人のためのジュエリー 社会科学習

## Used Antiques 中古かアンティークかもしくは...

円安になると宝石はほぼ輸入ですので仕入れでは値上がりしてきます。それと増税の為に宝石入手にも勿論課税となりますから全体的に値上がり傾向ではあります。ヴァンモアとしては元々国内の昔からお付き合いのある業者様とも連携をとって益々努力して、リーズナブルで革新的なジュエリー製作に日々精進して参ります。

そこで、全国の宝飾業界の流れとしてやはりお客様も気になっておられる事として「ジュエリーの買取」があるのではないかと思います。現在、日本はジュエリーで輸出国?! になっていると思います。ニュースにもなっているように古いデザインでも中国では「Made in Japan」として信用が人気を後押しして流通しています。ふと考えると、日本ではイギリスなどの100年以上前のジュエリーを「アンティーク」として今でも大切に流通させています。この場合の中国ではアンティークなのでしょうか? それとも中古なのでしょうか? はたまた磨き直したら新品なのでしょうか? 当店ヴァンモアは今も中古(リサイクルジュエリー)は扱わず、買取(下取り)も昔から職人として溶かして精錬分析(※現在は相田化学工業株式会社の協力を得て)して綺麗な純金・純プラチナにしてから当社規定の配合でまた貴金属にして新しいデザインへと生まれ変わらせています。これまでに世界中で発掘された金の産出量がオリンピックの競泳用プール(25×50×2m)約3杯分しかない?! と言われていて、そして今後採掘可能な金の予測も約プール1杯分しか無いそうです。その上でデザインもリサイクルしたいという想いから、ヴァンモアはこれからもお客様へ「思い出の詰った宝石のリフォーム」と「新しい貴金属にする買取」をお勧めしていこうと考えています。そしていつか、日本のジュエリーが「アンティーク」と言われる素晴らしい価値を生み出したなら、そんな貴重なクオリティーのある、まだデザインも斬新で今も身に付けられる作品は残されてはどうかともお勧めしています。ジュエリーを愛する気持ちは、デザインも価値も様々なようです。



相田化学工業株式会社  
Aida chemical industries Co., LTD.

<http://www.aida-jp/action/>  
相田化学工業株式会社の信頼への取り組み

L P P M取得  
ISO 9001取得  
ISO 14001取得

おとぎ話のように母貝から真珠を採り出した時、パッと既に見慣れているパールカラーに輝くものだと思われている方も多いと思います。実際に宝石店の従業員でも現地各所の前処理と言われる漂白処理や調色という



色



色の



とは

加工処理(エンハンスメント)を全て見ている方は少ない為、説明が難しい状況でなされて来なかったからだと思われれます。ヴァンモアでも十分な説明が出来ていなかったと感じ記事にまとめてみました。一般的な真珠の説明から致しますと多くの場合染みや汚れを持っていて、アコヤ真珠は黄色の色素を持つアコヤ貝から産出されるため表面が黄色味を帯びた珠が普通は先ず採れます。そこで宝飾品質としての価値を引き出す為に、「シミ抜き(特にその中で重要な工程として不純物の除去に昔から過酸化水素水を用いた方法や、特定の波長の光に真珠をあてて有機物を分解してシミを抜く方法など。)」といった漂白処理がなされます。ここまでは通常浜揚げ後の真珠ほぼ大部分に行われています。この段階で十分な宝石品質の「色・照り」であるものを「無調色」として流通されています。しかしながらここで少し誤解もありまして、本来の真珠色と言いましても漂白処理はされていますので「白色の珠」により近くなっていると言う事です。そこで、淡いローズ色までもが劣っていると感じた真珠加工会社が切磋琢磨して、本来の淡いローズ色を加え魅力を戻した「調色」という日本が誇る真珠加工技術が生まれました。「真珠本来の色へのこだわり」、そこには真珠の加工職人として「無調色」にも「調色」にもこだわりがある事になりますね。現在は「無調色」の方が年平均産出量の3~4%と言われていて希少価値もあり流通量も少ないことや自然に近いという考えから上質と言う人もいますが、職人としてひと手間加える「調色」も逸品ととらえる事が出来るそうです。真珠ブランド各社も両方を支持していますので、ここからはお店とお客様の見る目にゆだねる事が正しいと思います。ヴァンモアとしては「価値と価格のバランス」と、ジュエラーとしての最大のポイント「デザイン性」を考慮してお客様へご提供出来るよう、日々情報とデザイン感覚を養って努力し続けます♪。ちなみに過度の調色はほぼ「着色」にあたり、加工処理(エンハンスメント)も過度になると真珠に負担大きく表面が荒れたり脆くなってしまうという副作用があるため、必然的に真珠層が厚い宝飾品質のものに限られる施しとなります。その為、調色加工は極力最小限に留めていますから経年変化(退色)はほとんど見られませんが、それが無調色にはより少ないこととなります。

ベルマーク♪  
集まったら寄贈に向けて。

皆様のお陰で **4417.8 点!**



社会貢献、出来ることからチョット始めたことですが少しずつ増えて来てここまで集まりました!。これからもカップルやご家族のお子様やお孫様とも互助意識のサポートが出来れば幸いです。

ジュエリーで幸せを創造する会社 ヴァンモア

宝石工房  
**Van More**  
www.vanmore.co.jp



名古屋市中央区栄3-4-5 栄NOVA 8階 TEL(052)243-1900